

第2731回例会 2023年4月6日 (木)

SAA/山本順也会員・

会報担当/ 川島事務局

●点 鐘 福原会長

●ソング 君が代 奉仕の理想 4つのテスト

●お客様 VONDS市原

● 会長挨拶 福原会長



こんにちはみなさん、お元気ですか。

晩春のひとつき、いかがお過ごしでしょうか、変わりなくお過ごしのことと推察致します。

本日のお客さまは、千葉銀行笠井富雄姉ヶ崎支店長が八街支店長にご栄転し、児島正人姉ヶ崎支店長に就任致しました、今後よろしくお願ひいたします。

4月国際ロータリーでは、母子の健康月間です。日本のロータリーにおける女性会員率は、世界の中で大変低い割合(7%)ですので、母子の健康について関心も低いと言わざるを得ません。しかし、世界のロータリーでは、7つの重点分野の1つとして母子の健康を支援し、5歳までの幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援しています。現在世界で課題とされていることに「児童婚(18歳未満での結婚)」の廃絶があります。アフリカや東南アジアの国々で、今も児童婚を強いられている少女の数は、年間1,200万人にのぼります(ユニセフ調べ)。少女は、妊娠や出産による死亡リスクが高まるほか、暴力や虐待を受けやすいとされています。「女の子だから」と言う理由で、自分の体のことを自分で決められず教育を受けることもできず、人生を選択できません(SDGsでは、この児童婚を2030年までに廃絶することを目標にしています)。

世界中で貧困、紛争、災害から子どもの権利を守り、未来を取り戻すことが必要です。世界中の人々が安心して暮らせる日が来ることを願っています。

本日の例会は、創立60周年準備委員会の卓話です。50周年記念誌の歴代会長をご紹介します。第41代 始関信夫会長 第42代 加藤利夫会長第43代 津留起夫会長 の一文をご紹介します。カタツムリは、「お前の頭はどこにある、角だせ槍だせ頭出せ」と歌われていますが、これをロータリーに振り向ければ「あなたの奉仕はどこにある、金出せ知恵だせ汗をだせ」となる。いわゆる奉仕の三要素です。

第44代 角谷 修会長 第45代 藤谷泰弘会長
第46代 千葉精春会長第47代 西村美和子会長
第48代 齋藤榮志会長 第49代 小川長二会長
第50代 泉水孝夫会長歴代会長で、現有会員は4名です。会員の皆さまにとって有意義な時間をお過ごし下さい。

● 幹事報告 宮武幹事



第55回インターアクト指導者講習会(2023年5月9日)開催について
千葉県いのちの電話協会チャリティーコンサート「協賛広告」の件一口5000円決まりました。

パキスタン洪水救援基金、トルコ・シリア大地震義捐金のご協力御礼とご報告がありました。
4月ロータリーレート1ドル133円です。

● 出席報告

出席者：38名 欠席者：37名 出席率：52.77%

● **本日の司会**

S A A 山本順也会員



● **例会場** 淡粹

いつも美味しい料理ご馳走さまでした。



VONDS市原

渡辺広大キャプテンより



第57回関東サッカーリーグ1部が開幕しました。
初戦南葛SCに1-0にて勝利する事が出来ました。
次回はHOME 4月9日ゼットエーオリプリスタジアムにて
ホーム開幕戦ですので、是非多くの方に来て頂きたく
応援よろしくお願い致します。
今年度JFL昇格に向け頑張りますので、応援・支援の程
よろしくお願い致します。



● **ニコニコ報告**

山崎会員・・・お蔭様で2月末決算無事に
迎えられました。今年は無事故無災害
を継続できまして7800日連続無災害
継続中です。8000日目指して努力します
平野会員・・・第4G以前のクラブ対抗
ゴルフ大会の景品スクラッチが当たり
ましたので、ニコニコします。
檜垣会員卓話ありがとうございました。

永野会員・・・本日はVONDS市原にお時間を頂きありがとうございました。

4月9日開幕戦は入場料無料となります。Jリーグで戦った選手も多く所属し見ごたえのある
試合になりますので、ご家族や社員さんなどにお声掛け頂き是非ご来場下さい。

● **メインプログラム**

市原RC創立60周年準備委員会 檜垣会員より
市原RCのわだち
(卓話 別途添付)



● **委員会報告**

会員研修委員会 磯貝副委員長より



令和5年5月11日
淡粹例会後14時30分～
新入会員セミナー開催
メールにてご案内お送り致しますので多数のご参加お待ちしております。

福原会長・宮武幹事・・・創立60周年準備委員会
の卓話ありがとうございました。
千葉銀行姉崎支店長児島様
今後ともよろしくお願い致します。
VONDS市原の皆様今シーズン
も頑張ってください。

ペタリングジャヤとの締結について

市原ロータリークラブ 「善意と友情 二十年のわだち」より
泣き泣き受けた区分代理、
姉妹クラブペタリングジャヤ RC と締結



決議 23-34 とは

決議 23-34 は、「社会奉仕に関する 1923 年の声明」として 1923 年に開催されたセントルイス国際大会に提出された第 34 号議案であり、**決議されて今年で 100 年になります。**

この決議の原文は「綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針を再確認し、国際ロータリーとロータリー・クラブにおける今後の手引きとなる原則を定める件」となっています。決議 23-34 はロータリーの綱領に基づくすべての実践活動に対する指針であると同時に、ロータリーの二つの奉仕理念をロータリー哲学として確定したドキュメントなのです。

二つの奉仕理念とは

ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕-「超我の奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

ロータリーにとってもっとも大切なこの二つの奉仕理念を定義している唯一のドキュメントであり、ロータリーにおける四大奉仕のすべての活動の指針であり、すべての活動をコントロールする規範となるドキュメントであるということ。

それが、この決議 23-34 と言われています。



山本順也会員・始関信夫会員に補足として詳しくお話しして頂きました。
本日の卓話の締めくくりとしまして、これまでの奉仕活動の歴史を学んだ上で。
これからの時代背景に合った内容を会員の皆様と模索して参りたい。